



<お知らせなど>

※山形県のコロナ関連・補正予算などに係る事業費等については、各ホームページでご確認ください。

→ 航空自衛隊第4航空団第11飛行隊「ブルーインパルス」の展示飛行について

庄内空港の開港30周年を記念し下記日時による展示飛行を行います。※展示飛行は、庄内地方の広範なエリアで観覧が可能です。

○練習飛行

10月22日(金) 10:50~11:20

○展示飛行

10月23日(土) 13:30~14:00

遊佐町上空13:30→酒田市上空13:33→

庄内町上空13:34→鶴岡市上空13:36→

三川町上空13:38分です!!

→ 東北公益文科大学の早期効率化について

山形県へ要望書を提出!! 9/13

9月13日(月)に鶴岡・酒田商工会議所の両会頭並びに庄内地区商工会広域連携協議会会长の3経済団体で、東北公益文科大学の早期効率化に向け、県庁において大滝総務部長に要望書を提出いたしました。その後、山形県知事と面談を行い、今後の方向性について意見交換を行いました。

→「新型コロナ対策特別委員会」による研修会を開催いたしました 9/29

新型コロナ感染症を取り巻く情勢が変化していることから、感染症に対する基礎知識等について有識者(山形大学医学部附属病院 検査部長 森兼啓太氏)から意見収集を行いました。

主な内容は、①ワクチンの効果、②免疫はどういう期間が有効か、③治療薬、④これまでの感染例・特徴、⑤5類感染症に変更するとの問題点などです。

明るい未来の創造に向けて

山形県議会議員(鶴岡市選挙区)

県政レポート No.10

じゅん

山形県議会議員 高橋 淳



◆山形県議会9月定例会が閉会／一般会計補正予算211億1,200万円/ 山形県副知事の選任可決(平山雅之氏/62歳)

10月8日、山形県議会9月定例会が閉会致しました。

県議会9月定例会に提案された議案は、令和3年度山形県一般会計補正予算(追加議案含む)、人事案件(県教育委員会委員の任命、山形県副知事の選任)、公営企業会計の未処分利益剰余金の処分及び請願などです。

追加議案を含めた一般会計補正予算211億1,200万円、今年度の累計予算総額は、7,163億4,400万円です。

また、3月9日に若松正俊氏の副知事再任を求める人事案が否決されてから7ヶ月が経過し、県庁総合調整役の副知事不在の中、最終日、県庁OB職員(商工労働部長を歴任)の平山雅之氏(山形県企業振興公社理事長/東根市出身(62歳))の人事案がようやく可決されました。(^▽^)/



◆吉村県知事に「ウィズコロナ社会における感染予防対策と日常生活の両立に向けた提言(案)」を手交いたしました!!

県議会9月定例会最終日、新型コロナウイルス感染症対策特別委員会理事会で協議・検討した内容等を踏まえ、山形県議会議長から吉村県知事に提言書を手交致しました。

主な項目として、①適切な情報発信に基づく感染予防対策について、②医療提供体制の確保について、③今後のワクチン接種について、④行動制限の緩和に向けて、⑤新型コロナにより経済的損失を受けた方々に対しての支援などです。

<請願審査(採択のみ)>

1. 米の需給調整を求める意見書の提出について
2. 私学教育の支援について
3. 私学助成の充実強化を求める意見書の提出について
4. 2022年度県予算における、私学助成関係予算の拡充について

<意見書案上程(採択)> ※地方自治法第99条の規定による意見書提出

1. 私学助成の充実強化を求める意見書(総務)
2. 少人数学級編成に向けた計画的な教職員定数改善と必要な財源を求める意見書(文教公安)
3. 米の需給調整を求める意見書(農林水産)
4. 社会資本整備の推進及び財源確保を求める意見書(建設)

◆令和3年度9月補正予算の概要(主なもの) ※追加議案含む

■新型コロナウイルス感染症への対応(5,836百万円)

(1) 地方創生臨時交付金を活用した事業者支援

→山形県教育委員会の特別職人事案件で工藤恵子氏(新庄市、(株)さくらプランニング取締役(44歳)を議会で承認!

山形県教育委員会の権限及び組織については、地方自治法及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、学校その他の教育機関を管理し、学校の組織編制、教育課程、教科書その他の教材の取扱及び教育職員の身分取扱に関する事務を行い、並びに社会教育その他教育、学術及び文化に関する事務を管理し及びこれを執行する合議制の機関であります。

本県においては、条例を設けて、教育長及び5人の委員をもって組織されています(委員の任命は、知事が議会の同意を得て任命し、任期は4年、日本国民で満30歳以上等の資格要件があります)。



→令和3年『社会生活基本調査』が10月20日(水)に行われます。約1,600世帯

この調査は、国民生活の実態を明らかにすることを目的として、統計法に基づき実施する、国の重要な統計調査です。

今回の調査では、多様な働き方の選択を可能とする仕事と生活の調和の実現が求められている一方で、情報通信機器の急速な普及や新型コロナウィルス感染症の影響により生活様式も変化している中、より的確に国民の社会生活の実態を捉えることをねらいとしています。

→鶴岡市長・鶴岡市議会議員選挙の投開票日が10月10日(日)に迫っています。

鶴岡市長選挙は現職の皆川治氏・新人の元県議会議員の佐藤聰氏の一騎打ちが濃厚となっています。コロナ禍の大変厳しい、そして、難しい選挙戦となっています。

連合山形鶴岡田川地域協議会で推薦している、現職の小野由夫、石井清則、田中宏市議会議員、新人の南波純、工藤博市議会議員候補者5名と、新人の遠藤初子市議会議員候補者を支援しています。ご協力をお願いします!!

発行人:山形県議会議員 高橋淳



<高橋淳事務所>

発行日:令和3年10月8日

〒999-7601 鶴岡市藤島字古橋跡100-1

TEL:0235-26-8731/FAX:0235-26-8732

Mail: takahashi.jun.kouenkai@gmail.com

<山形県議会／県政クラブ執務室>

TEL:023-630-3211(4階受付)

※皆様からの県政に対するご意見をお待ちしております。

①飲食店関連事業者への家賃等支援、②雇用調整助成金の特例措置延長に伴う助成金利用促進支援(県単上乗せ等)、③中小企業・小規模事業者や組合等が行うデジタル化対応の支援、④観光立寄施設が行う誘客促進策の支援、⑤地域交通事業者(バス・タクシー)支援、就労継続支援B型事業所を利用する障がいのある方への支援金の給付など

(2)地域経済活性化への対応

①やまがたGotoEatキャンペーン延長対応、②住宅リフォーム支援の拡充、③やまがた文化応援キャンペーンの対象拡充(料亭・料理屋の追加)など



(3)県民生活への支援

①生活福祉資金の特例貸付期間延長への対応、②解雇・雇止めされた方への応援金の給付、③医療的ケア児、生活困窮世帯への県産不織布マスクの配布

(4)感染拡大防止への対応

①ワクチン接種の促進(接種回数に応じた医療機関への支援等)、②急激な感染拡大による病院逼迫時における酸素ステーションの設置、③県立高等学校・特別支援学校高等部における1人1台端末の整備。

■凍霜害・電害(354百万円)

○令和3年4月～6月までの凍霜害・電害に対する緊急対策

■諸課題への対応等(14,818百万円)

○「出産給付金」の対象期間拡大、保育士確保支援、県管理道路の安全対策の実施、若者のがん検査無料化、過年度の国庫返還金など

■米価下落対策緊急支援等(追加議案104百万円)

①米価下落対策資金の発動・無利子融資化(融資枠5億円)、②山形米ハート「新米贈ろう」キャンペーンの展開、③アンテナショップや県外事務所等における新米を活用したPRの展開、④新米を活用した観光需要喚起キャンペーンの実施など。

◆「文教公安常任委員会」10/5～10/6開催(主な事項)

○警察の非違事案が多数発生し再発防止に向けた対応について
○秋の交通安全県民運動の成果と今後の交通事故防止対策について
○児童生徒性暴力等の防止等に関する法律の対応状況について
○児童の挨拶励行の指導状況と小学校防犯教室の開催について
○県体育館及び県武道館の指定管理運営を1年間延長する経緯等

◆「財政の健全化判断比率」の速報が総務部より公表!!

<主な財政指標等>

指標名	30年度	元年度(A)	令和2年度(B)	増減(B)-(A)
①標準財政規模(億円)	3,268	3,229	3,259	+30
②経常収支比率(%)	95.5	95.7	94.5	△1.2
③財政力指数	0.36563	0.37352	0.37896	0.000544

◆形式収支(歳入ー歳出)

○歳入6,959億円ー歳出6,742億円=217億円(+124億円)

◆実質収支(形式収支ー翌年度へ繰越すべき財源)

○162億円(+112億円) このうち89億円については、国から概算で交付された新型コロナウィルス感染症緊急包括支援交付金の事業費確定に伴う不用額であり、令和3年度中に変換する予定)

◆議会レポートあとがき

コロナ禍により令和3年産米の概算金が大幅下落。主食米の需給調整と価格安定は、食料安全保障のために国が担うべき最も重要な責務です。積極的に取り組んできた山形県としては怒りと悲しい限りです!!